

令和6年度
第2回 インクルーシブ教育推進フォーラム

だれもがともに学べる学校を考えよう
～みんなでつくる『インクルーシブな学校』～

第2回 ディスカッションテーマ

地域のみんなでつくる インクルーシブな学校



神奈川県教育委員会

地域のすべての子が
地域の学校に通い
ともに学べること

I 趣旨説明

神奈川のインクルーシブ教育の
推進について

神奈川県教育委員会
インクルーシブ教育推進課

大切にしたいこと

●多様性・包摂性を前提に考えていくこと

多様性 子どもは多様であること

包摂性 すべての子どもが参加できること

●対話を通して知恵を出し合うこと

「フルインクルーシブ教育推進市町村」(海老名市)の取組

■ 令和6年3月29日

海老名市教育委員会と県教育委員会による協定の締結

【趣旨及び目的】

海老名市教育委員会と神奈川県教育委員会が緊密な相互連携と、協働による活動を推進し、**全ての子どもたちが地域の小・中学校に通い、同じ場で共に学び、共に育つことができる環境を実現すること**を目的とする。(協定書より)

対話を通して今後に向けた検討を進める

- 共同会議体を立ち上げ、学校の支援体制整備に向けた研究の実施
- 市民との対話の場を実施
- 教職員への研修会、説明会を開催

Kanagawa Prefectural Government

第1回フォーラムでは

第1回ディスカッションテーマ

だれにとっても学びやすい これからの通常の学級を考える

会場参加型パネルディスカッションの中で

- 一人で考えると考えが偏る。だからこそみんなで議論していくことが大切である
- 授業観や教育観を変えていく必要がある
- 子ども自身が選べるようにしていくことを大切にしたい
- 教師だけでなく、子どもに聞いてみる
- 学校だけでなく、地域の人々で学校について考えていくこと

など

Kanagawa Prefectural Government

本フォーラムのねらい

インクルーシブ教育の推進に向けて

多様性、包摂性を前提に、対話を通して知恵を出し合い、「自分がどう動くか」を一人ひとりが考えていく

今年度のテーマ

だれもがともに学べる学校を考えよう
～みんなで作る『インクルーシブな学校』～

Kanagawa Prefectural Government

第2回フォーラムのねらい

第2回ディスカッションテーマ

地域の人々で作る インクルーシブな学校

地域の中の学校であること

地域に暮らす子どもであること

会場参加型パネルディスカッションを通して…

- 地域の人々で作る意義は何か？
- みんなで作るための具体的なアイデアは？
- どのような課題があるか？
- 今後、どんなことができるか？

対話を通して共に考えていきましょう

Kanagawa Prefectural Government